

LESSON NOTES

Advanced Audio Blog S4 #25 Top 10 Japanese Holidays: Tango No Sekku/Boys' Day

CONTENTS

- 2 Kanji
- 3 Kana
- 4 Romanization
- 5 English
- 6 Vocabulary
- 7 Sample Sentences
- 7 Grammar

25

KANJI

1. 端午の節句
2. 前回のブログで紹介した「ひな祭り」は女の子のお祭りでしたね。今回は男の子のお祭りを取り上げます。
3. 新緑がまぶしい5月5日は「端午（たんご）の節句」。
4. 「端午」とは、「月の端(初めという意味)の午(うま)の日」を指し、5月に限ったものではありません。しかし、午の日の「午（うま）」という漢字の音読みが「ご」で、数字の五と発音が同じなので、次第に5月5日だけを表すようになったそうです。
5. 男の子のいる家では庭やベランダに「こいのぼり」を立て、室内にはミニチュアサイズの「鎧（よろい）」や「兜（かぶと）」、「武者人形（むしゃにんぎょう）」などを飾るのが一般的です。
6. 「こいのぼり」とは、「こい」という魚をかたどって筒状に作られた布製の吹流しのことです。5月の風物詩でもあるため、風をはらんで青空に泳ぐ「こい」の姿を映像や写真で見たことがある人も多いでしょう。ではなぜ「こい」なのでしょう。それは、「こい」は滝をも登ると言われる魚なので、それにあやかり男の子の立身出世を願って飾られるのです。
7. また、「鎧」と「兜」は戦場で命を守る武具なので、男の子を災難から守る象徴として飾ります。同じく、勇猛果敢に戦った有名な人物を人形にした「武者人形」も、息子を災厄から守ってもらうために飾るのだそうです。
8. そして、家に男の子がいる・いないに関わらず、端午の節句には柏餅や、ちまきを食べます。柏餅とは、柏という木の葉の上に小判型に餅を伸ばし、さらにその上に餡（あん）を乗せて二つ折りにした菓子のことで、ちまきとは、餅米や葛粉などを笹の葉や竹の皮で包み、蒸したもののことを指します。

CONT'D OVER

9. 「ひな祭り」同様、「端午の節句」にも子どもの健やかな成長を祈って行なわれる様々な風習があることが分かりますね。尚、5月5日は「こどもの日」として国民の祝日に制定されています。

KANA

1. たんごのせっく
2. ぜんかいのブログでしようかいした「ひなまつり」はおんなのこのおまつりでしたね。こんかいはおとこのこのおまつりをとりあげます。
3. しんりよくがまぶしい5がついつかは「たんごのせっく」。
4. 「たんご」とは、「つきのはし(はじめといういみ)のうまのひ」をさし、ごがつにかぎったものではありません。しかし、うまのひの「うま」というかんじのおんよみが「ご」で、すうじのごとはつおんがおなじなので、しだいにごがついつかだけをあらわすようになったそうです。
5. おとこのこのいるいえではにわやベランダに「こいのぼり」をたて、しつないにはミニチュアサイズの「よろい」や「かぶと」、「むしゃにんぎょう」などをかざるのがいっぱいてきです。
6. 「こいのぼり」とは、「こい」というさかなをかたどってつつじょうにつくられたぬのせいのふきながしのことです。ごがつのふうぶつしでもあるため、かぜをはらんであおぞらにおよぐ「こい」のすがたをえいぞうやしやしんでみたことがあるひともおおいでしょう。ではなぜ「こい」なのでしょう。それは、「こい」はたきをものぼるといわれるさかななので、それにあやかりおとこのこのりっしんしゅっせをねがってかざられるのです。

7. また、「よろい」と「かぶと」はせんじょうでいのちをまもるぶぐなので、おとこのこをさいなんからまもるしょうちょうとしてかざります。おなじく、ゆうもうかかんにたたかったゆうめいなじんぶつをにんぎょうにした「むしやにんぎょう」も、むすこをさいやくからまもってもらうためにかざるのだそうです。
8. そして、いえにおとこのこがいる・いないにかかわらず、たんごのせっくにはかしわもちや、ちまきをたべます。かしわもちとは、かしわというこのはのうえにこばんがたにもちをのばし、さらにそのうえにあんをのせてふたつおりにしたかしのことで、ちまきとは、もちごめやくずこなどをささのはやたけのかわでつつみ、むしたもののことをさします。
9. 「ひなまつり」どうよう、「たんごのせっく」にもこどものすこやかなせいちょうをいのっておこなわれるさまざまなふうしゅうがあることがわかりますね。なお、ごがついつかは「こどものひ」としてこくみんのしゅくじつにせいいていされています。

ROMANIZATION

1. Tango no sekku
2. Zenkai no burogu de shōkai shita "hinamatsuri" wa on'nan o ko no o-matsuri deshita ne. Konkai wa otoko no ko no o-matsuri o toriagemasu.
3. Shinryoku ga mabushii go-gatsu itsuka wa "tango no sekku".
4. "Tango" to wa, "tsuki no hashi (hajime to iu imi) no uma no hi" o sashi, go-gatsu ni kagitta mono de wa arimasen. Shikashi, uma no hi no "uma" to iu kanji no on'yomi ga "go" de, sūji no go to hatsuon ga onaji na node, shidai ni go-gatsu itsuka dake o arawasu yō ni natta sō desu.
5. Otoko no ko no iru ie de wa niwa ya beranda ni "koinobori" o tate, shitsunai ni wa minichua saizu no "yoroi" ya "kabuto", "musha ningyō" nado o kazaru no ga ippanteki desu.

CONT'D OVER

6. "Koinobori" to wa, "koi" to iu sakana o katadotte tsutsujō ni tsukurareta nunosei no fukinagashi no koto desu. Go-gatsu no fūbutsushi demo aru tame, kaze o harande aozora ni oyogu "koi" no sugata o eizō ya shashin de mita koto ga aru hito mo ōi deshō. Dewa naze "koi" na no deshō ka. Sore wa, "koi" wa taki o mo noboru to iwareru sakana na node, sore ni ayakari otoko no ko no risshin shusse o negatte kazarareru no desu.
7. Mata, "yoroi" to "kabuto" wa senjō de inochi o mamoru bugu na node, otoko no ko o sainan kara mamoru shōchō to shite kazarimasu. Onajiku, yūmō kakan ni tatakatta yūmei na jinbutsu o ningyō ni shita "musha ningyō" mo, musuko o saiyou kara mamotte morau tame ni kazaru no da sō desu.
8. Soshite, ie ni otoko no ko ga iru. inai ni kakawarazu, tango no sekku ni wa kashiwa mochi ya, chimaki o tabemasu. Kashiwa mochi to wa, kashiwa to iu konoha no ue ni kobangata ni mochi o nobashi, sara ni sono ue ni an o nosete futatsuori ni shita kashi no koto de, chimaki to wa, mochigome ya kuzuko nado o sasa no ha ya take no kawa de tsutsumi, mushita mono no koto o sashimasu.
9. "Hinamatsuri" dōyō, "tango no sekku" ni mo kodomo no sukoyaka na seichō o inotte okonawareru samazama na fūshū ga aru koto ga wakarimasu ne. Nao, go-gatsu itsuka wa "kodomo no hi" to shite kokumin no shukujitsu ni seitei sarete imasu.

ENGLISH

1. Tango No Sekku/Boys' Day
2. "Hinamatsuri," which I introduced in the last blog entry, was a festival for girls; this time, we'll be looking at a festival for boys.
3. On the fifth of May, when the fresh green leaves are dazzling, it is "Tango no Sekku," or "Boys' Day."
4. The word 端午, "tango," refers to the "Day of the Horse" at the new moon, and it isn't just limited to a day in May. However, because the Chinese reading of the character 午 ("horse") in "Day of the Horse" is "go," which is the same sound as the "number five" in Japanese, 五, "go," it gradually became reserved only for the fifth of May.

CONT'D OVER

5. In homes that have a boy in the family, it's customary for "koinobori" to be erected in the garden or on the balcony, while indoors miniature versions of "yoroi" ("suits of armor"), "kabuto" ("helmets"), and "musha ningyō" ("samurai dolls") are put on display.
6. "Koinobori" are cylindrical streamers made of cloth that are meant to represent a fish, the "koi" ("carp"). Since "koinobori" are something that represent a specific season for Japanese people, many of you will have seen photos or images of these "carp" filling with wind and swimming in the blue sky. So why carp? That's because carp are said to swim up even waterfalls. This is the basis for why these "carp" are displayed in order to pray for boys' worldly success.
7. Furthermore, since "yoroi" ("suits of armor") and "kabuto" ("helmets") are things that protect one's life on the battlefield, they are displayed as symbols intended to protect boys from misfortune. Similarly, the "musha ningyō" ("samurai dolls"), which are modeled after famous historical figures who were fearlessly brave fighters, are also intended to protect one's son from disaster, it seems.
8. Also, regardless of whether there's a boy in the family, on Boys' Day people eat "kashiwa mochi" and "chimaki." "Kashiwa mochi" are confectionary made from sticky rice cake spread in an oval shape on an oak tree leaf, which then has "an" ("sweet bean jam") spread on it and is folded in half. "Chimaki" is made from sticky rice and "kuzuko" ("Japanese arrowroot starch"), among other things, which are wrapped in a bamboo leaf or in bamboo peel, and then steamed.
9. So you see that in the same way as the Doll Festival, Boys' Day is also an event with many different customs whose purpose is praying for children's healthy growth to adulthood. In addition, the fifth of May is a designated public holiday in Japan called "Children's Day."

VOCABULARY

Kanji	Kana	Romaji	English
鎧	よろい	yoroi	armor
吹流し	ふきながし	fukinagashi	streamer, pennant
勇猛果敢	ゆうもうかかん	yūmōkakan	having dauntless courage

災厄	さいやく	saiyaku	calamity, disaster
餡	あん	an	bean jam
兜	かぶと	kabuto	helmet
葛粉	くずこ	kuzuko	arrowroot flour
筒状	つつじょう	tsutsujō	cylinder, cylindrical
立身出世	りっしんしゅっせ	risshinshusse	social success

SAMPLE SENTENCES

<p>博物館に鎧が展示されている。 <i>Hakubutsukan ni yoroi ga tenji sarete iru.</i></p> <p>Armor is displayed at museums.</p>	<p>大きい袋をくっつけて、吹流しを作った。 <i>Ōkii fukuro o kuttukete fukinagashi o tsukutta.</i></p> <p>I made a streamer by putting big bags together.</p>
<p>兵隊達は、勇猛果敢に敵陣へ攻めていった。 <i>Heitai-tachi wa yūmōkakan ni tekijin e semete itta.</i></p> <p>The soldiers courageously ventured into the opponent's territory.</p>	<p>災厄が起こらないように祈る。 <i>Saiyaku ga okoranai yō ni inoru.</i></p> <p>I pray that no disasters will occur.</p>
<p>この饅頭には、餡がたくさん入っていておいしい。 <i>Kono manjū ni wa an ga takusan haitte ite oishii.</i></p> <p>This dumpling has a lot of bean jam inside, and is very good.</p>	<p>兜が重過ぎて、首を痛めた。 <i>Kabuto ga omosugite kubi o itameta.</i></p> <p>I hurt my neck because the helmet was too heavy.</p>
<p>葛粉はとても高級だ。 <i>Kuzuko wa totemo kōkyū da.</i></p> <p>Arrowroot flour is very expensive.</p>	<p>筒状の竹が必要です。 <i>Tsutsujō no take ga hitsuyō desu.</i></p> <p>I need a cylindrical bamboo.</p>
<p>立身出世のために努力を惜しまない。 <i>Risshinshusse no tame ni doryoku o oshimanai.</i></p> <p>I do not spare any effort to achieve social success.</p>	

GRAMMAR

Yuichi: オーディオブログ第4シーズン第25課 「端午の節句」

Jessi: こんにちは ジェシーです。

Yuichi: ゆういちです。このシリーズでは、ジェシーさんと一緒に「日本の行事・祝日」を紹介しています。

Jessi: 今回紹介する日本の行事は？

Yuichi: 男の子のお祭りである「端午の節句」です。 Jessi: では、聞いてみてください。

*** Blog ***

Yuichi: さて、今回は男の子の祭り「端午の節句」でした。

Jessi: 5月5日のこどもの日の祝日のことですね。

Yuichi: そうです。ジェシーさんは、何か今回のブログで面白い発見はありましたか。

Jessi: ありました！「端午の節句」という名前の由来が初めて知りました。端午の「ご」が、数字の「ご」と一緒なので、端午の節句が5月5日になったんですね～。

Yuichi: 僕は、今回のブログで紹介されているものは、基本的に、全部体験したことがあります。兜とか、よろい、こいのぼりとか、あと柏餅を食べるというやつですね。小さい頃、兜をかぶった写真がありますよ。

Jessi: ああ、カブトって侍のヘルメットみたいなヤツですよ。

Yuichi: ヘルメット・・・まあそうですね！確かに、ヘルメットです。戦いのときに、頭を守るものだったということですね。

Jessi: なんか、Star Wars のDarth Vader がかぶっているのとちょっと似ていますよね。

Yuichi: あああ～！

Jessi: 似てませんか？

Yuichi: まあ、似てなくはないと思いますね。

その、「かぶと」をかぶったのは小さい頃の話で、今では、兜とかは被りませんが、今でもすることと言ったら、柏餅ですかね。柏餅は今でも食べるんですけども、ジェシーさんは柏餅は好きですか？

Jessi: はい、私、餅と餡が好きなので、大好きです！

Yuichi: ちなみに、昔から、お餅というのはハレの日に食べるということが決まっていたそうなんです。

Jessi: お餅って、特別な食べ物なんですね。

Yuichi: この「ハレの日」っていうのは覚えていますか。この前のブログにもでてきましたけれど。

Jessi: はい。おめでたい日のことですね。

Yuichi: はい、その通りです。「おもち」というのはおめでたい日に、神様にささげる食べ物として扱われていたり、季節の変わり目などにもよく食べられていたみたいです。

Jessi: そうなんですか。

Yuichi:お餅は色々な食べ方があってとてもおいしいですね。やわらかくて、モチモチした食感が良いですね。 Jessi:いいですね~!モチを食べたくなりました。

Yuichi:じゃあ、ちょっとモチの話はこれぐらいにしておいて、端午の節句の話に戻りましょう。この端午の節句には、特別なことをすると色々書いてありましたね。

Jessi:はい。こいのぼりや武者人形について書いてありました。

Yuichi:その通りです。ブログには紹介されてなかったんですが、もう一つ、端午の節句にすることがあるんですけども、知ってますか？

Jessi:うーん。ちょっとわからないです。

Yuichi:菖蒲湯です。

Jessi:しょうぶゆ?? 「しょうぶ」って、お花の「しょうぶ」ですか？

Yuichi:あ!さすが、よく知っていますね。菖蒲っていうのは、薬草にもなるそうです。この「しょうぶゆ」っていうのは「菖蒲をいれたお風呂」という意味になります。

「しょうぶ」というのは英語でなんですか？

Jessi:irisと言いますね。

Yuichi:端午の節句には、菖蒲を入れたお風呂に入るのが慣習になっています。

Jessi:でも、どうして菖蒲を入れるんですか？

Yuichi:良い質問ですねー。色々説はあるみたいなんですが、菖蒲の葉の形が剣みたいなので、子供が丈夫に育つことを願って菖蒲を入れたといわれています。

Jessi:ふうん、なるほど。お風呂に何かを入れるって言うのは日本ならではですね。

Yuichi:アメリカでは、あまりお風呂に何か入れたりしないんですかね？

Jessi:そうですね~一応入浴剤というのはあるんですけど、日本みたいに一般的じゃないような気がします。そもそもお風呂に浸かるんじゃなくてシャワーを浴びる人が多いですしね。

Yuichi:そうですね。実は、他にも日本には「ゆず湯」と言って、ゆずをお風呂に入れる日もあります。

Jessi:それはいつですか。

Yuichi:冬至です。

Jessi:1年中でもっとも昼が短く、夜がいちばん長くなる日のことですね。

Yuichi:はい。その日には、ゆずを入れてお風呂を楽しみます。 Jessi:さすがお風呂の国、日本ですね!

Yuichi:そうですね。お風呂に何かを入れる日が決まっているというのは面白いと思いますね。ゆず湯なんかは、においがとてもいいので、おすすめですよ。

Jessi:日本以外でも、お風呂に何か入れる文化を持つ国はあるんでしょうかね。リスナーのみなさんの国の文化で、お風呂にまつわる話があったら、是非教えてください。

Yuichi:もちろん、お風呂だけじゃなくて、端午の節句みたいな、男の子のお祭りについても教えて欲しいですね。

Jessi:コメントお待ちしております。

Yuichi:それじゃ、今回はここまで。 Jessi:さようなら。